

マイホームデザイナーを使った学習プラン（中学家庭）

「住居の機能と和式/洋式の住まい方」

1. 本時の目標

- ・ 家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能について理解する
- ・ 日本の伝統的な住宅や住まい方に見られる様々な知恵に気づき、生活文化を継承する大切さに気付く

2. 授業展開

過程	時間	学習活動	スライド																				
導入	3分	1 本時の学習課題の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における季節の変化に合わせた住まい方の学習について触れながら、本時の学習活動の概要を伝える ・ 「みなさんは家に帰ったら、どんな空間で何をしていますか」と発問し、各自の住まいと生活行為を思い起こさせる 																					
展開	7分	2 自分や家族の生活行為を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・ 住まいにおける生活行為を生活空間ごとに整理したワークシートを配布し、帰宅してからの生活行為ではまるものにチェックするように指示する ・ あてはまるものがない場合は、自分で書き加えてもよいことを伝える ・ ワークシートに「個人生活の空間」「共同生活の空間」「生理・衛生の空間」「家事作業の空間」をそれぞれ記入させ、生活行為とそれを行うための住空間を整理するよう促す ・ 生徒は「家事作業の空間」で行う生活行為のチェックが少ないと考えられる。そこでそのことについて触れ、家族がどのような生活を重視するかによって、住空間の使い方が異なることを伝える 3 住居の基本的な機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活行為と住空間との関わりを踏まえ、住居の基本的な機能をスライドで示す ・ 自室で睡眠をとったり、家族と食事や会話をしたりすることで、心身の安らぎと健康が維持されることや、そのような生活行為の中で子どもが生まれていくこと等を説明する ・ さらに、小学校で学んだ自然から人を守る器としての住居の機能についても触れる 	<div data-bbox="1059 808 1422 1010"> <p>自分や家族の生活行為を振り返る</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>個人生活の空間</th> <th>共同生活の空間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 勉強</td> <td><input type="checkbox"/> 会話</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> スマホ/PC</td> <td><input type="checkbox"/> 食事</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ゲーム/遊び</td> <td><input type="checkbox"/> 作業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 睡眠</td> <td><input type="checkbox"/> テレビ</td> </tr> <tr> <th>生理・衛生の空間</th> <th>家事作業の空間</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 入浴</td> <td><input type="checkbox"/> 料理</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 排便</td> <td><input type="checkbox"/> 洗濯</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 洗顔</td> <td><input type="checkbox"/> アイロン</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 手洗い</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1059 1211 1422 1413"> <p>住居の基本的な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の安らぎと健康を維持する働き ・ 子どもが育つ基盤としての働き ・ 雨や風、暑さ・寒さなどの過酷な自然から人々を守る器としての働き </div>	個人生活の空間	共同生活の空間	<input type="checkbox"/> 勉強	<input type="checkbox"/> 会話	<input type="checkbox"/> スマホ/PC	<input type="checkbox"/> 食事	<input type="checkbox"/> ゲーム/遊び	<input type="checkbox"/> 作業	<input type="checkbox"/> 睡眠	<input type="checkbox"/> テレビ	生理・衛生の空間	家事作業の空間	<input type="checkbox"/> 入浴	<input type="checkbox"/> 料理	<input type="checkbox"/> 排便	<input type="checkbox"/> 洗濯	<input type="checkbox"/> 洗顔	<input type="checkbox"/> アイロン	<input type="checkbox"/> 手洗い	<input type="checkbox"/>
	個人生活の空間	共同生活の空間																					
<input type="checkbox"/> 勉強	<input type="checkbox"/> 会話																						
<input type="checkbox"/> スマホ/PC	<input type="checkbox"/> 食事																						
<input type="checkbox"/> ゲーム/遊び	<input type="checkbox"/> 作業																						
<input type="checkbox"/> 睡眠	<input type="checkbox"/> テレビ																						
生理・衛生の空間	家事作業の空間																						
<input type="checkbox"/> 入浴	<input type="checkbox"/> 料理																						
<input type="checkbox"/> 排便	<input type="checkbox"/> 洗濯																						
<input type="checkbox"/> 洗顔	<input type="checkbox"/> アイロン																						
<input type="checkbox"/> 手洗い	<input type="checkbox"/>																						
35分	4 いろいろな住空間をみてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの住まいについて動画を用いて説明するので、特徴や気づいたことを記録するように指示する ・ 「北海道の家」：小学校における季節の変化に合わせた住まい方の学習の振り返りとして、『3Dマイホームデザイナー住空間学習教材/北海道の家』（※1）を用い、高気密・高断熱の構造や工夫について説明する。また、家具やドア、壁、部屋の仕切り方、収納の仕方についても取り上げる（※1 参照 「ご利用の手引き」） ・ 「昭和の家」：畳、座卓、座布団などを用いた我が国の座式の住まい方が現代の住居に受け継がれていることを理解するために、『3Dマイホームデザイナー住空間学習セット/食空間の移り変わり/昭和の家』を用い、北海道の家との違いに気づけるように説明する ・ 動画視聴後、生徒が気付いた住まいの特徴も取り上げながら、「北海道の家」のような洋式の住まいと、「昭和の家」のような和式の住まいとの違いを整理する ・ 伝統的な住宅や住まい方に見られる様々な知恵に気付くことができるように「京町屋」の動画を視聴する。座式の住まい方が現代の住居にも受け継がれている例や、しつらいについて取り上げ、伝統的な住宅や住まい方の知恵をまとめる 	<div data-bbox="1059 1615 1422 1816"> <p>いろいろな住まいを見てみよう</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北海道の家</th> <th>昭和の家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 洋式</td> <td>・ 和式</td> </tr> <tr> <td>・ 家具が多い</td> <td>・ 家具が少ない</td> </tr> <tr> <td>・ 部屋の使い方が決まっている</td> <td>・ 部屋が多用途に使える</td> </tr> <tr> <td>・ 部屋と部屋はドアで仕切られている</td> <td>・ ふすまや障子をあけると広い部屋になる</td> </tr> <tr> <td>・ クローゼットに収納する</td> <td>・ 押し入れに収納する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 畳がある</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1059 1839 1422 2040"> <p>伝統的な住宅や住まい方の知恵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋を自由に使うことができる <ul style="list-style-type: none"> ・ 例) 座卓をしまい、布団を敷くと寝室になる ・ ふすまや障子を開くと広い空間ができる <ul style="list-style-type: none"> ・ 例) 短冊掛け等の行事もできる ・ 季節に合わせた住まい方ができる <ul style="list-style-type: none"> ・ 寝具などを家立て風通りを良くしたり、涼感を感じたりできる </div>	北海道の家	昭和の家	・ 洋式	・ 和式	・ 家具が多い	・ 家具が少ない	・ 部屋の使い方が決まっている	・ 部屋が多用途に使える	・ 部屋と部屋はドアで仕切られている	・ ふすまや障子をあけると広い部屋になる	・ クローゼットに収納する	・ 押し入れに収納する		・ 畳がある							
北海道の家	昭和の家																						
・ 洋式	・ 和式																						
・ 家具が多い	・ 家具が少ない																						
・ 部屋の使い方が決まっている	・ 部屋が多用途に使える																						
・ 部屋と部屋はドアで仕切られている	・ ふすまや障子をあけると広い部屋になる																						
・ クローゼットに収納する	・ 押し入れに収納する																						
	・ 畳がある																						

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p style="text-align: center;">5分</p>	<p>5 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を振り返る 	<p style="text-align: center;">まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の基本的な機能 <ul style="list-style-type: none"> ・雨や風、暑さ・寒さなどの過酷な自然から人々を守る器としての働き ・心身の安らぎと健康を維持する働き ・子どもが育つ基盤としての働き ・住まいの空間 <ul style="list-style-type: none"> ・個人生活の空間 共同生活の空間 ・家事作業の空間 生理・衛生の空間 ・日本の座式の住まい方は、現代の住まいにも受け継がれている
--	---------------------------------------	--	--

3. 発展

発展学習として、和式と洋式を組み合わせた住空間の使い方の工夫を考える学習活動が考えられる。例えば、3Dマイホームデザイナー内にある「北海道の家」の3Dサンプルを用いて、「畳」「座卓」「座布団」「布団」「押入れ」といった和式の家具・道具をどのように配置するか話し合ったり、実際にソフトを操作したりする。

4. 学習指導要領との対応

平成 29 年 3 月告示 【技術・家庭編】中学校学習指導要領

B 衣食住の生活

住生活

(6) 住居の機能と安全な住まい方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。

(イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。

イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。

(内容の取扱い)

ク (6) のアについては、簡単な図などによる住空間の構想を扱うこと。また、ア及びイについては、内容の「A 家族・家庭生活」の (2) 及び (3) との関連を図ること。さらに、アの (イ) 及びイについては、自然災害に備えた住空間の整え方についても扱うこと。

『学習指導要領解説』

ア (ア) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。

ここでは、自分や家族の生活行為と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解できるようにする。

家族の生活と住空間との関わりについては、家族がどのような生活を重視するのかによって、住空間の使い方が異なることを理解できるようにする。また、家族が共に暮らすためには、住生活に対する思いや願いを互いに尊重しながら調整して住空間を整える必要があることを理解できるようにする。さらに、畳、座卓、座布団などを用いた我が国の座式の住まい方が現代の住居に受け継がれていることが分かり、現代の住居には和式と洋式を組み合わせた住空間の使い方の工夫があることに気付くようにする。その際、小学校における季節の変化に合わせた住まい方の学習を踏まえて、我が国の伝統的な住宅や住まい方に見られる様々な知恵に気付き、生活文化を継承する大切さに気付くようにする。和式と洋式については、布団とベッドによる就寝の形態や、押入れとクローゼットによる収納の形態などにも触れるようにする。

住居の基本的な機能については、家族の生活と住空間との関わりを考えるを通して、住居は家族の安定した居場所であることを理解できるようにする。その際、小学校の学習における、雨や風、暑さ・寒さなどの過酷な自然から人々を守る生活の器としての働きに加え、中学校では主として心身の安らぎと

健康を維持する働き，子どもが育つ基盤としての働きなどがあることを理解できるようにする。また，住居の基本的な機能を充たすために，住居には，共同生活の空間，個人生活の空間などが必要であることを理解できるようにする。

指導に当たっては，住空間を想像できるような簡単な図や写真，動画などを用いて，家族の生活と住空間との関わりについて具体的に理解できるよう配慮する。例えば，住居の機能に気付かせるために，家族を想定し，間取りが分かるような簡単な図などを活用して，家族の生活行為がどのような住空間で行われているのか，家具などをどのように配置するのかを話し合う活動などが考えられる。

なお，住生活の学習については，生徒の住まいに係るプライバシーに十分配慮する。

5. テーマの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族の生活と住空間との関わりが分かり，住居の基本的な機能について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。